



# Kainan East Rotary

DISTRICT 366

CLUB WEEKLY BULLETIN

事務所 海南市日方1294 海南商工会議所内 TEL (07348) 2-4363  
 例会日 毎週月曜日 12時30分 ♣才1例会のみ 18時30分 於海南商工会議所4F  
 会長 吉田隆一 幹事 片山博之 会報委員長 坂上充作

才63回 例会 昭和51年10月25日(月) 於海南商工会議所

1. 開 会 司 会 上 南 雅 延
2. ロータリーソング 「手に手つないで」
3. 昼 食
4. 出席率 66.67% 会員総数25名 出席者数18名  
前回修正出席率 96%
5. ビジター 笹尾藤晃様(和歌山東南R.C.) 長井謙介様(和歌山R.C.)
6. メイキャップ 前窪紀文君 奥村匡敏君 上田文亮君 山田秀雄君  
吉田隆一君(10/19 地区ロータリー情報研究会出席)  
中尾公彦君(10/20 海南R.C.にて)
7. 会長スピーチ 前窪紀文君代行

◎ 吉田会長よりの伝言を御報告申し上げます。去10/19 才366地区情報研究会がホテルプラザで開られたが、和歌山R.C.がホストとなり傘下80R.C.参加者364名の盛況だった。議題は

- ◎ ロータリークラブの会員増強について
- ◎ あなたのクラブのためのよりよいロータリー情報について
- ◎ より効果的な世界社会奉仕について
- ◎ ロータリー財団の参加について

以上4項目に互り、才365地区直前ガバナー千宗室氏がカウンセラーとなって行われた。出席義務者の方はどうも御苦勞様でした。藤沢ガバナーからの要請があり、3週間以内に研究会に基づいたクラブ協議会を開く事になっている。当クラブとしては来11/8の例会日に増強、情報、世界社会奉仕についての協議会を開きますので各委員長はよろしくお願い致します。猶11/14~11/20はロータリー財団週間になっていますのでその際研究会出席報告を兼ね協議会を開きたいと思っている。

このたび新入会員としてお二方を迎えることになりました。お目出度うございます。当クラブは発足以来1年余りしかたっていないので一諸に勉強し、親睦を深めていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

“SERVICE” I believe in ROTARY 「奉仕」ロータリーを私は信奉する



## 8. 幹事報告

### ○ 例会臨時変更通知

堺南R.C. 11/1(月) 11/1 17:~嵯峨野平野屋

和歌山東南R.C. 11/13(土)~11/17(水) 8:~

大阪東淀R.C. 11/22(月)~11/20(土) 18:~ニューフジヤホテル

### ○ I.C.G.F. 才2組御案内(ホスト橋本R.C.)

日時 昭和51年11月13日(土) 受付 11:00~ 開会 12:00

場所 橋本市教育文化会館2F大ホール

## 9. 委員長報告 奥村増強委員長

### ○ 新入会員のお二人を御紹介致します。

岸 義朗君 T.13.6.4生 岸会計事務所 奥様お名前真理子さん

結婚記念日 S.29.4.11 趣味ゴルフ

平尾寧章君 S.16.1.16生 内科医院 奥様お名前美代子さん

結婚記念日 S.51.2.4 趣味読書

## 10. ニコニコ箱

田岡君(海南サッカー協会会長就任)

山野君(地区情報研究会欠席のため)

上南君(海外旅行フィリッピン行)(初場内監督代行)

岸 君 平尾君(新入会員として)

## 11. 会員卓話 宮田敬之佑君

○ 毎週日曜日には五時に起きてお大師さんに朝詣りをしている。子供の頃から両親には大変心配や迷惑をかけて育てて来た私ですがその両親も無くなり、今度は自分が子供の親の立場になって初めて親の有難味、恩を痛感している、私が今日あるのは親の恩、そしてご先祖のお蔭であり家族が健康で毎日を送れることに感謝する気持ちが信仰への道となりました。西洋でも日曜日の礼拝から週が始まるごとく、私も日曜日の朝詣で週の始めとして、日々恙無く暮らせたことをご先祖に感謝している。遠い先祖が神様であり近い先祖が仏様である、故に神仏をうやまう心はすべてご先祖をうやまうことにかわりない。偽りのない行動や奉仕の心、それに人の為にと云う仏教の教えはロータリーの四つのテストと全く相い通づるものがある。

般若心経と云うお経について、その内容は私達にはむづかしい文句ではあるが、理屈をぬきに先づ覚えることである。算盤の九九のごとく、小学生はその理論より丸暗記をすることから始まり、高学年になるに従って、それが8が8つで64になると理解出来る様に、このお経も次々にその内容にふれて尊い教えの意義を悟ることが出来る。真理を知る大智慧によって一切の真の相(すがた)を知り、悟の世界に到る大切なお経、これが般若心経である。

どうか皆様も今日自分があるのは自分一人の力だなどと云う間違った考えを改め、又今日もこの様に元気に活躍出来るのもご先祖のお蔭と手を合わす心を持ち地上のすべてに感謝する気持ちを持っていただき、明日への励みにしていきたいと思う。

※ お話を聞き乍ら平素はあわただしい毎日の延長で心のよりどころのなさに恥ずかしさを感じました。



○ 現在ボーイスカウト海南才1分団に關係しているのでこの運動に就いて説明したいと思う。資格は小学校2年生の後半から大学卒業の年齢に互る青少年男子を対象とする一連の青少年教育である。これはイギリスのロード・ベーデン・パウエル郷(1857~1941)の考えた人間形成の方式にその理念と方法を求めたもので、日本では大正9年(1920)に入って来たが、目的は公民として家庭に於ても学校に於ても社会に於ても職域に於ても立派な男性且、国民として亦国際人としても世界に通用する男を作る事である。一方ベーデン、パウエル郷は此れとならんで「女らしい女作り」としてガールスカウトの訓練法を創案した。

このように社会教育としては非常にスケールの大きいもので、いわば国際的な人作りと云う事になる。それは人道主義に従った国際愛の教育であり平和友好の運動という事になる。対象の年齢からみて次代をになう人間の教育ともなるので、両親の協力はもとより一般社会の協力も強く得られなければ達成出来ない大きな運動である。現在では世界91ヶ国に普及し1050万人余のメンバーを数えている。対象の年齢によってその教育訓練の鍵を次の4つに絞っている。

(1)性格作り (2)健康作り (3)技能作り (4)奉仕の実践

特に奉仕の実践について説明すると「人のお世話にならぬよう、人のお世話はするように、そしてむくいを求めぬように」と日本連盟初代総長後藤新平氏は教えた。此れが奉仕と云う事の本旨であってスカウト教育の理念である。今日サービス(奉仕)と云う言葉が濫用され、かつ誤用されているようだが元来は神仏に仕える純真な心の発露で礼拝(サービス)と同じ語と聞いている。だからスカウトは信仰心を持つよう奨励されているがスカウト教育自体は決して宗教教育ではなく亦宗教でもない。唯宗教への接点だと思ふ。スカウトの標語に「日々の善行」が掲げているがこれは「一日一善」とも云われ此の「善行」は道徳としては確かに美德である。現在の学校教育では制度上困難であるがスカウト教育はむしろ積極的に此の方向に推進している。尚ボーイスカウトの入隊に際して次の3条の「ちかい」がある。

①神や仏と国とに誠を尽し「おきて」を守る ②いつも他の人々を援ける ③体を強くして心をすこやかに徳を養う又カブスカウトには2つの「約束」がある。  
1. 僕はまじめにしっかりやります。 2. カブ隊の「さだめ」を守ります。教育訓練の4つの鍵を行う事は少年が灼熱的に熱中する時期にその性格をつかみ出し、それを正しい形に溶接しその個性を力づけ伸ばす事によりその少年が自分の祖国のため、善良な人間、有用な国民となる様に自らを磨いて行く事になる。スカウト訓練は万国共通で他人に対する奉仕が出来る能力をつける事であり国際的な世界団体として前進し遠く手を伸ばして働く事が出来る。少年の訓練にあたって世界市民が各自の祖国を単位にして作りなすチームに於て、その少年が有能なプレイヤーとなるように精神能力共に伸ばしてやるべきである。もし各人各国が自分の持ち場で公明正大に物事を行うならば、世界全体は更に繁栄し幸福になると信じている。今後共ボーイスカウト海南才1団の発展のため絶大な御協力をいただきますようお願い申し上げます。

※ ボーイスカウトやガールスカウトは知っていましたが内容についてくわしい説明をいただきました。次代をになう少年のため御活躍下さい。



○ 明治5年9月9日に黒江小学校が創立されて今年で100年目である。今日黒江小学校100年誌書が出来上ってきたので、その内容を紹介旁々黒江の町について話をしたいと思う。此の表紙は黒江の地場産業である漆器に因んで黒としその中に朱色で紀州雛を象どった装丁になっている。本書の3/4は黒江の郷土史にとり1/4は小学校史をとりあげており、特徴としては黒江町を紹介した郷土史の色彩を及ぼした100年史と云えると思う。郷土史については各権威ある方々に執筆してもらったが当R.C.の柳川様にも20頁の執筆をお願いした。その中に石門心学の項目が有るが文化4～5年頃に黒江の川端通りに修身を主体とした学塾(楽善舎)があり塗屋や町家の人達が授業を受けた事が掲っている。場所は現在の木佐商店の倉庫のある場所と聞いている。黒江の町は熊野に通じる沿道にあり宿場町ともいわれているが遠く萬葉のみよから黒牛瀉に面した景勝の地としても有名だった。萬葉集に「くろうしうみのくれないにおうももひきの大宮人しあさひあさしも」とうたわれている。

海南市内には熊野詣の遙拝所99王子のうち三つも存在し特に藤白神社は熊野権現の才1の鳥居と云う事で立派な遙拝所が出来ておりそこで歌会とか酒宴がもようされ海南に關係ある歌も17首ほど萬葉集に掲げている。当時はのんびりした風情で二日も三日も泊り色々の会式があったようである。

現在でも黒江方面に「つれもていこら」と云う言葉が使われているが動詞の使い方や字は萬葉時代と全く同じ使い方である。

来11月7日に100周年の記念式典を行いたいと思っているが、郷土史料館を建て黒江の町の古い史料を一般開放する事になっている。なかには華岡青洲先生の妹さんが柳川家に嫁いでおられ先生もたびたび黒江に来られた關係から片山医院には先生の史料が多く保存されている。江戸時代に乳癌手術の状態を弟子が絵に書いたもの等もあり展示しているので是非一度観ていただきたいと思う。

※ 現在黒江小学校P.T.A.会長であると共に100周年の記念事業にもたずさわられ後世に残る御苦労だと思います。100年誌の配布を楽しみにしています。

---

#### ※ ロータリー財団週間とは

毎年11月15日を含む週間は、全クラブによる同時遵奉の機会であります。財団の事業を一層周知せしめて潜在的寄付者に關心を起させる手段として、この週間にロータリー財団の奨学金及び補助金受領者やその他の人々に、クラブ集会や、教育施設や、或は地域社会の会合に於て、ロータリー財団についての講演をさせるよう勧告されております。

---

次回例会案内 昭和51年11月1日(月) 18:30～於海南商工会議所

会員卓話 中尾君、岡田君、奥村君

昭和51年11月8日(月) 12:30～於海南商工会議所

クラブ協議会 増強、情報、世界社会奉仕

ロータリー財団各委員長リーダー